

中学校3年間を見通した外国語(英語)科の指導内容とキャリア教育

(第1学年)

1 単元 Power Up 1 ハンバーガーショップへ行こう

2 ねらい
ファストフード(ハンバーガーショップ)で客と店員が対話する実際の場面を想定し、柔軟に使えるような会話力を身に付ける。

3 実践とキャリア教育
ファストフード店の買い物は、多くの生徒が実生活でも体験している。そこで今回、教科書で基本的な表現を学んだ上で、より自分自身の体験に近付けた場面を設定する。また、英語での即興的なやりとりができる能力の育成を図る。また、本活動を通して基礎的・汎用的能力(言語活動としての話題)の育成を図る。

4 全体構想

主な活動内容	時数
○新出語句や教科書内容の確認	1
○与えられた場面や自分自身で自由に設定した場面でのやりとり	1

5 本時の学習

(1) ねらい
教科書で学んだ基本的な表現を基に、客として自由に注文したり、店員として客の注文に適切に応じたりすることができる。

(2) 展開

過程	学習活動と内容	指導上の配慮事項と評価
導入	1 あいさつを確認する。 2 前時の復習や新出語句や用法を確認する。	○英語学習を始める雰囲気をもたせる。 ○ロールプレイが円滑に進められるよう対話に必要な基本表現を確認し、十分練習させる。
展開	3 ロールプレイ 各自が好きなものの注文に応じた店内でのやりとりを行う。 A: Hi, for here or to go? B: For here, please. A: What can I get for you? B: Can I have a hamburger and a small tea, please. How much is it? A: Three dollars, please. B: OK. Here you are. A: Thank you.	○店での対話を深められるよう提示資料を工夫する。(メニュー、注文票等) ◎注文するメニューや飲食する場所を自由に設定させることで、より実際に近い場面を意識させる。 ☆自由かつ即興的に英語でやりとりできたか。
まとめ	4 ペアによる発表 5 ペアで行った対話を全体で発表する。 次時の確認	◎他のペアを参考に、自分たちの対話を振り返らせる。 ○課題を確認し、次時の見通しをもたせる。

○配慮事項 ◎キャリア教育の視点から特に重要なこと ☆評価

授業の様子



生徒に提示したメニューや注文票

